

2013年4月1日

関係各位

野村ホールディングス株式会社

コード番号8604

東証・大証・名証第一部

## 2013年度野村グループ入社式、永井浩二グループCEO訓話要旨

皆さん、入社おめでとうございます。グループを代表して心より歓迎いたします。

野村は、創業以来「顧客と共に栄える」という経営理念のもと、お客様のニーズに対し、真摯に向き合ってきました。そのことが、多くのお客様からの信頼をいただくことに繋がり、だからこそ、80年以上の長きにわたって、社会の中で存在し得たのだと思います。昨年、野村は経営体制を刷新し、会社を根底から創りかえると宣言しました。そして、「創りかえなくてはならないもの」、「決してかえてはならないもの」についても、野村で働く全員で共有しました。「かえてはならないもの」とは、先ほど述べた「顧客と共に栄える」という創業以来の精神であり、それを行動規範に置き換えると、「すべてはお客様のために」ということになります。皆さんはこれから、野村の一員として証券業に携わるわけですが、この「すべてはお客様のために」を日々の行動の原点としていただきたいと思います。

金融商品やサービスは目に見えないものであり、また、お客様のニーズは顕在化していないことが多いと思います。ですから、専門知識や情報、サービスが差別化の要因になることは言うまでもありませんが、それ以上に、それを提供する人の人間性、パーソナリティが重要になってくるのです。このパーソナリティが付加価値の一つであるというのが、証券業の一つの側面です。それゆえ、難しいですが非常に面白いビジネスです。皆さんには、一日も早く自分の価値観や人生観を確立できるよう、自分自身を磨いていっていただきたいと思います。

最後に、皆さんに贈りたい言葉があります。「スマートで、目先が利いて几帳面、負けじ魂、これぞ船乗り。」という言葉があり、野村にも通ずるところが多いと思いますので、ご紹介します。自分なりの価値観を確立し、常に高いテンションを維持しながら緻密である、そして「負けじ魂」、実はこれが一番大切で、どんな困難な局面においても投げ出すことなく、全力で最後までやりきろうとする気持ちを表しています。「スマートで、目先が利いて几帳面、負けじ魂、これぞ野村マン、野村ウーマン。」この言葉を贈りまして、私の皆さんへのお祝いのあいさつといたします。

以上